

2001年初めてのカンボジアで、支援開始  
私のカンボジア支援 —その2—プノンペン市内事情—

▼店の明かりは戦後の闇市(2001-05)

迎いの車で市内を走って驚いた。街が暗い。電力不足で年中停電だという。商店はと見ると「ああっ 懐かしい！日本の戦後の闇市にあった明かり。アセチレンガスを燃やして作る明かりがプノンペンにもあった！」「燃えるときに出るカーバイトの匂いも懐かしい。」連なる店の何処もアセチレンガスの明かりでした。昔の日本がここにありました。

土埃の舞うガタガタ道の際には屋台の食事店が立ち並び、土埃の中で夕食をしている人が沢山いました。土埃の舞う道端では、むき出しのフランスパン？を売っていました。

車は古い、夜でも暑い。クーラーは効かない。土埃は酷くて窓は開けられない。交通信号が1ヶ所もない、暗いプノンペンの街を走ってホテルに向かいました。2001年には、プノンペンには営業しているホテルは少なかったです。内戦の後、高級ホテルの多くは荒れ果てたままでした。

料金が安いホテルには泊まれず、中級の安いホテルを探しました。中級の下に属するホテルでしたが、まあ良いホテルでした。朝食付きで30\$くらいだったと記憶しています。このホテル、3回目のカンボジア調査でも泊まろうとしましたが、火事で燃えてしまいホテルはありませんでした。

実はこのホテルの地下は麻薬工場で、カンボジア警察が急襲した折に火災が発生し全焼したそうです。合わせて10日間程泊まりましたが、地下で麻薬を作っていたとは全く知りませんでした。

今その場所には、日本の大きなショッピングモールが建ち、連日カンボジア人や観光客の買い物で賑わっています。道路は何処も

レクサスやランドクルーザー等の高級車で大渋滞し、最近ポルシェの販売店もできました。

交通信号も至る所に出来、違反者も多く、取り締まる警察官の収入を増やしている。



私の15年前のカンボジア支援開始の回顧録を連載しています。



ស្រីស្រី によにゆむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。

によにゆむ通信

2018年4月号 No.4

公益社団法人  
Sumita Scholarship Foundation, Cambodia  
(SSFC) 代表理事 住田平吉  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町2-44  
第二石坂ビル502  
TEL:03-6272-5717 FAX:03-3511-5019  
E-mail: info@ssfc.or.jp  
ホームページ: http://www.ssfc.or.jp/

◇シエムリアップ州教育長「ランサイ中学校の研究発表会に、私も必ず行く。」  
州の校長を集めて、「研究発表会への参加を全員に勧める。」と約束。



中：サイ・チャ・スホン教育長、右：ノッ・サバー副校長

◇シエムリアップ州教育局に教育長を訪問して、研究の成果を報告しました。

4月27日10時、ランサイ中学校のノッ・サバー副校長に同行してもらいシエムリアップ州教育局にサイ・チャ・スホン教育長を、訪問しました。訪問目的は、昨年度紹介していただいた、アライン・ランサイ中学校での「生徒がよくわかる授業のしかた」の成果の報告と、研究発表会開催の相談です。

住田の報告の後、副校長が感じている、先生の進歩と生徒の変化について具体的に話してもらいました。副校長や先生は、ふだんでは、教育長に会う事や話すこと等まず無いほどに偉い人なので、当初、ガタガタ震えるほどに緊張していましたが、日頃自分も勉強し、先生の意欲の向上と進歩を目の当たりにしているので、落ちついて具体的に話しをすることができました。

「住田先生がランサイ中に来ない時でも、教えられた指導力向上の4項目を守って授業している先生も多い。事前の勉強を多くの先生がやっているの、授業に自信を持っている。先生の中には、住田先生が授業をしたときに配ってくれた、クメール語で書いた指導案を、自分で作って授業している先生もいる。先生の授業への意欲と勉強は、生徒にも伝わっている。授業に遅刻する生徒が居ない。授業中ぼんやりしている生徒が居ない。先生の質問に生徒がよく答え、授業が活発になった」など、報告をしました。

教育長は副校長の話聞いて、「それは凄いことだ！ぜひ、私も授業を見たい！時間の都合をつけて、見に行く。」と話した上で、「シエムリアップ州にも、授業の仕方を教えられる先生が居ない。州内の校長を集めて、発表会には校長は全員見に行くように勧める。」と言ってくれました。

加えて、新しい研究協力校の候補校を紹介してくれました。

◇ご支援をお願いいたします。

教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。寄附金のお振込みは、下記からお願いいたします。

- 三菱UFJ銀行 神保町支店  
口座番号(普) 0968555
- ゆうちょ銀行 00110-2-767497  
口座名:公益社団法人 SSFカンボジア

ゆうちょ銀行振込用紙(記入例)

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

右のQRコードからもアクセスできます。

お問い合わせは、  
TEL:03-6272-5717 FAX:03-3511-5019  
E-mail: info@ssfc.or.jp  
ホームページ: http://www.ssfc.or.jp/



http://www.ssfc.or.jp/

## ◇先生が手作りの三角形を作って授業をしました！

中学2年生の数学の授業。学校が始まって以来の出来事。  
先生も授業に熱が入り、生徒も授業に集中しました。

2月2日 10:10～11:00 中2・数学の授業 「直角三角形について知る」

授業者は、パエン・ソクンテリー先生（女・23才・経験年数3年）

「三角形」を教えるために、先生は事前に、細い木を買って来て、形の違う三角形を2個作った。先生は、初めて作ったので木を接着するのが難しかった。授業に使うと思うとワクワクしたと話していました。



パエン・ソクンテリー先生の授業（自作の教具である“三角形”を使って授業を開始）

授業で生徒は、先生が作った“三角形”を初めて見るので、全員が興味を持ち、注目して授業が始まった。先生は、三角形を見せて問題を出し、生徒に答えさせるかたちで授業を始めました。

先生は、直角三角形の3つの角を示して、問題を出し、直角の部分より他の二つの角度が小さいことを教えた。生徒の正解の人数を調べたところ、45人中、34人が直角のほうが大きいと回答できた。

では、次の問題「直角のところはなぜ他の2つより大きいのか？」その理由を考えてください。

生徒数人が手を上げ、先生が指名して答えさせる。  
生徒A：直角は90度 三角形の角の合計は180度だから他の二つは直角のところより小さい。（同様な答えが他の生徒からも上がる。

生徒B：私は直角三角形？を書いて分度器で図ったら、他の二つは直角のところより小さかったです。



手が上がるようになった生徒たち

実際に確かめさせるために生徒全員に三角形を書かせ、計らせる。

生徒は直角部分を大きく書いているので、他の二つは直角のところより小さくなった。ここで授業終了の鐘が叩かれたが、先生は授業を続けた。15分延長して教え続けた。最後に全員に、辺の長さを指定した直角三角形を正確に書かせて授業は終わった。

※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「にょにゅむ通信」にも掲載されますので、ぜひご覧ください。

## ◇授業後の研究会(住田の感想)

毎回、授業見学の後に研究会を開催しています。  
授業後の研究会での指導：ソクンテリー先生の授業

自分で教具（三角形）を作った授業は、おそらくランサイ中学校始まって以来の事だろう。生徒も興味津々で、全員が授業に注目した。三角形の書き方を、直角を基にした書き方と辺の長さを基にした書き方をさせたのは良い。生徒は直角三角形が理解できたと思う。

先生は、事前に教える内容を理解して、授業をしたのが良い。先生が授業時間を延長してまで教えた事、生徒も授業が終わるまで真剣に勉強していた事は、指導を始めてから初めての事で驚いた。先生・生徒ともに勉強に対する意識が向上していることを実感した。

◎ソクンテリー先生がSSFCの指導力向上4項目を実践して「生徒によくわかる授業」を目指して、努力していることが分かり感動した授業だった



授業後の研究会

## ◇奨学金給付生徒の紹介 ラワ・ディ(フンセン・スワイトム高校1年生 女 16才)

○家庭環境:父・2011年に強盗に殺された。母・2014年に病死した。兄・お寺に入り生活しているランサイ中学校の3年生、お寺の支援で学校に通っている。妹・小学校3年生。叔父さん(父の弟)と祖母、ラワ・ディ、妹の4人で生活している。○一家の収入:シムリアップでcockをしているおじさんが生活費を出してくれるが、足りないのでラバ・ディは英語塾の手伝いをして1ヶ月20\$程稼いでいる。10\$を祖母に渡し、10\$を学費にしている。塾代は先生が無料にしてくれた。○成績と得意科目:中学時代はクラスで常に1～2番だった。現在の高校は1月の中間試験の結果がまだ発表されていない。数学・国語が得意。○性格等:いつも笑顔で明るい。中学では生徒会の副会長をするなど、積極的・意欲的に活動する。学校を休んだことは3年間0日。貧しさにもげない頑張り屋で、ものを大事にする。○SSFCの奨学金給付で、諦めていた高校進学が決まって、嬉しくて泣いていた。勉強も頑張ることを約束した。叔父も祖母も、ラバ・ディが奨学金で高校に行けることに感謝している。



ラワ・ディ



祖母・妹・ラワ・ディ